

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見集計表

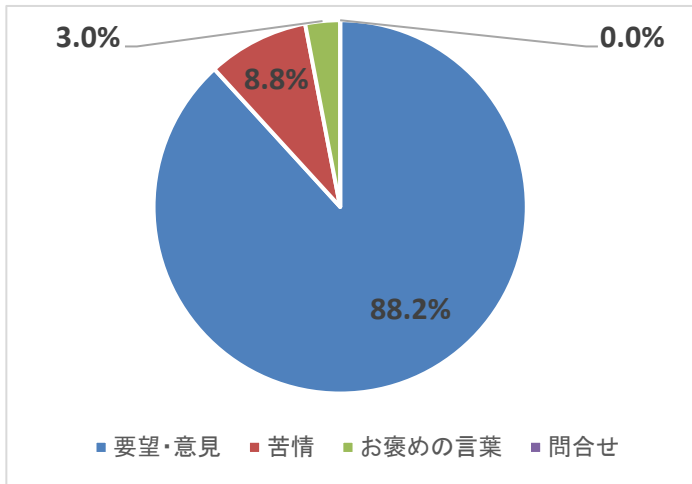
自由記載意見

区分	件数	前年度	比較	
記載者数	277	471	-194	-41.2%
意見数	365	574	-209	-36.4%

※一記載者から複数意見が挙がる場合があるため、記載者数と意見数は一致しない。

種類区分

区分	件数	前年度	比較	
要望・意見	322	542	-220	-40.6%
苦情	32	19	13	68.4%
お褒めの言葉	11	9	2	22.2%
問合せ	0	5	-5	-100.0%



所管区分

区分	件数	前年度	比較
地域づくり推進課	30	51	-21
防災防犯課	21	23	-2
環境課	10	23	-13
市民課	1	0	1
東部出張所・葉の木沢山活動センター	0	0	0
地域福祉課	6	8	-2
生活福祉課	2	5	-3
児童福祉課	16	39	-23
高齢者支援課	6	20	-14
地域包括支援センター	5	12	-7
健康推進課	20	16	4
健康づくり政策課	2	26	-24
保険年金課	7	8	-1
観光物産課	8	15	-7
企業振興課	20	37	-17
農林課	8	8	0
都市政策課	49	69	-20
道路課	58	64	-6
河川課	1	3	-2
水道総務課	0	2	-2
水道整備課	1	3	-2
下水道課	5	6	-1
教育総務課	2	2	0
学校教育指導課	6	3	3
学校給食センター	0	0	0
文化振興課・埋蔵文化財センター・図書館	1	3	-2
生涯学習スポーツ課	9	3	6
総務課	16	11	5
企画政策課	84	107	-23
情報システム課	0	0	0
財務課	2	3	-1
税務課	3	5	-2
収納課	0	0	0
会計課	0	0	0
議会事務局	0	0	0
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
選挙管理委員会事務局	0	0	0

※複数の所管区分にまたがる意見等もある。

内容区分

区分	件数	前年度	比較
地域・交流	26	40	-14
防災	2	4	-2
防災行政無線	4	8	-4
防犯・街路灯・交通安全	15	12	3
環境（住環境）	5	17	-12
ごみ	5	7	-2
医療・医療費	14	29	-15
子育て	16	34	-18
高齢者福祉	10	9	1
健康・検診など	15	40	-25
その他福祉	9	15	-6
産業振興（全体的）	1	2	-1
雇用・企業誘致	12	34	-22
観光	4	10	-6
特産品	2	1	1
商業	8	6	2
農業	8	5	3
都市計画・土地利用	13	21	-8
公園	12	12	0
道路（整備、維持管理など）	20	30	-10
歩道	9	9	0
除雪	31	25	6
交通網	28	43	-15
河川	1	3	-2
下水・上水	6	9	-3
教育（小・中）	8	4	4
芸術・文化・スポーツ	6	6	0
職員・市役所	16	12	4
総合計画関連	4	6	-2
市制	3	4	-1
広聴・広報・HP	11	17	-6
アンケート	19	13	6
財政	2	4	-2
公共施設	7	10	-3
料金・手数料	0	3	-3
税金	3	5	-2
議会	0	0	0
その他	44	66	-22

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
件 名	地域の交流について		
状 況 等	<p>核家族化や世帯の小規模化が進んでいるため、地域に声を掛け合う人や、困ったときに相談できる人がいることは、地域の安心・安全につながります。このため、地域での交流の機会をもつことは、人と人とのつながりを作るために大切なことであると考えています。</p> <p>一方で、その活動については高齢化や負担増という課題があることや、世代や考え方が違う様々な人と交流することにより、その接し方に苦勞し、悩まれている方も多くおられることも認識しているところです。</p> <p>様々な課題がある中ではありますが、「地域づくり活動は自らが考え、行動することから始まる」という考えを踏まえ、市内の多様な人と人のつながりを活かし、市民の想いを地域づくりへ反映させる「市民主体」の地域づくりの実現が大切であると考えます。</p>		
件 名	地域活動の担い手について		
状 況 等	<p>自治会の活動は、地域の清掃、交流行事、防災・防犯活動など多岐にわたります。それらの活動は地域のために必要なものですが、運営に携わる自治会役員の負担が大きくなっています。</p> <p>特にも仕事を持つ方や子育て世帯、学生などは、地域活動に関心があっても活動の担い手として参加が難しい場合があり、地域活動の担い手の固定化、担い手不足という課題が生じています。</p> <p>このため、自治会に参加する誰もが負担を感じることなく活動できるよう、自治会が取り組む、多様な事業運営の仕組みづくり、事業や運営規模の見直し、新たな担い手へのサポートのための体制づくり等の支援をまいります。</p>		
件 名	多様性の尊重について		
状 況 等	<p>性別、年齢、国籍などに捉われない多様な生き方が広まる一方で、古くから根付いている「固定的性別役割分担」や「無意識の差別」の解消が課題となっています。</p> <p>このため、誰もが「自分らしく」活躍できる社会を目指すため、多様性を認め合う意識づくりとともに、周りの人の考えを尊重し応援することの大切さを広めていくよう努めてまいります。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
件 名	災害時の避難所について		
状 況 等	災害時の避難所で必要となることが想定される冷暖房や非常用発電機等は、市が協定を締結している企業から提供を受けられるように体制を整備しています。また、飲料水についても市で備蓄しているもののほかに、協定を締結している企業から提供を受けられるように体制を整備しております。また、市では、食糧、段ボールベッド、毛布等の備蓄を進めています。		
件 名	災害に備えた住民交流等の働きかけについて		
状 況 等	市では、「ふれあいまちづくり出前講座」において地域住民を対象とした防災関連の講座を開催しています。その講座では、地域住民同士が交流し、防災知識を深めていただいています。また、各自治会等单位で自主防災訓練を実施していただき、多数の地域住民の方が協力し、初期消火訓練、救急救命訓練、避難訓練等を実施していただいています。		
件 名	水害対策に係る情報発信について		
状 況 等	市では、令和5年度より現行の防災マップを刷新し、新たな防災マップを各家庭に配布する予定です。特に、浸水害に関しましては、新たな浸水区域、予想される水位等を掲載しますので確認いただければと思います。		
件 名	交通安全施設の整備について		
状 況 等	警戒標識、ガードレールやカーブミラー等の交通安全施設は、自治会や学校からの要望をもとに、各担当課にて整備しております。交通安全施設については、担当課において現地点検の上、設置基準や優先順位を考慮しながら整備を進めております。信号機や横断歩道等の交通規制に関することは、警察の担当となるため、市から警察に対し整備を要請しております。警察では、道路環境や交通実態等を考慮しながら、交通規制の基準に基づき、交通規制を進めております。市では、今後も継続して関係機関と連携しながら、市内における交通安全施設の整備・改善を進めていきます。		
件 名	防犯対策について		
状 況 等	市では、少年補導員やスクールガード等の防犯ボランティアの方々に、日頃より地域の見回り活動を実施していただいています。市としましては、青色回転灯や広報資材の提供、ボランティアに従事される方を対象とした研修会の開催等、活動支援を行っております。また、市では、暗路における歩行者の安全確保のため、防犯灯を設置しております。設置については、自治会や学校の要望をもとに、現地点検の上、設置基準や優先順位を考慮しながら進めています。市では、今後も継続して関係機関と連携しながら、市内における防犯対策を進めていきます。		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	市民課
件 名	会計年度任用職員の配置について		
状 況 等	市民課では、窓口への会計年度任用職員の配置により、お客様の待ち時間の短縮化や正職員との業務分担による事務効率化などの効果が表れております。窓口対応におきましては、会計年度任用職員と正職員とが連携を図るなどし、より良い窓口の実現に努めております。		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域福祉課
件 名	障がい福祉施設の充実について		
状 況 等	<p>滝沢市には、グループホーム等の入所系、就労継続支援等の通所系、ホームヘルプサービス等の訪問系の障害福祉サービスを提供する事業所があり、事業所の指定は盛岡広域振興局福祉課が行っています。</p> <p>滝沢市としては、地域における障がい者支援の体制整備を目的に障害福祉サービスを提供する事業所等で構成される障がい者自立支援協議会を設置しています。今後もこの協議会の活動を通じて、市の障がい福祉施設の充実に努めてまいります。</p>		
件 名	臨時特別給付金支給への御礼について		
状 況 等	<p>今後も、国の給付事業等が実施される場合は、該当の世帯へ速やかに支給できるよう、対応して参ります。</p>		
件 名	福祉の充実について		
状 況 等	<p>現在、国の地域福祉の基本的な方針として、様々な課題が複合的に入り混じったご家庭に対し、一つ一つの制度だけではなく、関係する機関や団体と行政が連携して、見守りや必要なサービスを提供していく体制が求められています。</p> <p>今後、地域福祉の推進においては、要支援の方を家族や一つの支援機関だけで支えるのではなく、市民自らが主体的に地域づくりに携わることが重要であり、ネットワークで解決するための重層的な支援の仕組みづくりが必要と考えており、一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに作っていくための支援の輪をひろげてまいります。</p>		
件 名	働けない障害者への経済支援について		
状 況 等	<p>滝沢市では、重度の障がいをお持ちの方に特別障害者手当・障害児福祉手当を支給しております。また就労が困難な方も、障害福祉サービスを利用されることで身体機能の維持向上や、自立した生活を送るための訓練を経て、軽作業等の日中活動による工賃を得られる場合もあります。今後も引き続き各種サービスの利用方法や相談先である地域福祉課内に設置の基幹相談支援センターなどの情報について啓発し、気軽にご相談いただけるよう努めてまいります。</p>		
件 名	精神障がい者へのサポートについて		
状 況 等	<p>滝沢市では、地域福祉課内に基幹相談支援センターを開設し、障がいをお持ちの方が必要な障害福祉サービスを受けられるよう相談支援を行っております。医療・福祉・生活等様々なニーズに対応できるよう関係機関・団体と連携し、今後も精神障がいをお持ちの方への支援に努めてまいります。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	福祉タクシーについて
状 況 等	市では、在宅重度障がい者がタクシー(市と契約しているタクシー会社)を利用した際に移動に係る費用の一部を助成することにより、在宅重度障がい者が可能な限りその日常生活の身近な場面、場所において社会参加の機会が促進されることを目的として、一人当たり、1枚590円の助成券を1月あたり2枚交付しております。今後、福祉タクシーのみならず、地域の移動支援について、関係課や関係機関と課題の検討や支援の方策について研究してまいります。

件 名	障がい者のスポーツやレジャーについて
状 況 等	滝沢市では、障がい者スポーツの普及や障がい者の方の社会参加を促進することを目的に、障がい者スポーツ大会等への支援を行っております。障がい者の方が気軽にスポーツやレジャーを楽しむ機会を増やすことやその活動を支援することは、障がい者の方に生きがいのある豊かな生活を送っていただくうえで、重要であると考えております。今後、スポーツ担当部局や関係機関と連携し、障がい者の方がスポーツやレジャーを通して、充実した余暇を過ごせるような方策について研究し、各種大会の情報発信にも努めてまいります。

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	児童福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	子育て支援、子育て環境の充実について
状 況 等	<p>市では子どもが安心して暮らせる環境づくりを目指し、令和2年に「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援に取り組んでおります。</p> <p>保護者の働き方の変化や幼児教育・保育への関心から教育・保育ニーズが高まっていることから、今後も引き続き待機児童の解消に向け、入所定員の増などの保育の受け皿の整備に取り組むとともに、多様な保育ニーズに対応するために、保育士確保対策への取組、地域子育て支援センターによる地域子育て支援拠点事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業などの実施に努めてまいります。</p> <p>また、母子の各種健診、相談事業を実施する健康推進課及び子育て世代包括支援センターとも連携を図り、妊娠期から子育て期へと切れ目のない支援体制の強化に努めてまいります。</p>

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域包括支援センター
件 名	健康寿命を延ばす取り組み、介護予防について		
状 況 等	<p>地域包括支援センターでは、高齢者が健康的で自分らしく生活できるよう、介護予防の取り組みを実施しております。現在は、身近で集まり交流しながら介護予防を学べる場としての通いの場(いきいきサロン、いきいき百歳体操)への支援や、筋力アップのための運動教室、フレイル予防を目的とした教室の開催等を行っており、今後も継続して推進してまいります。</p>		
件 名	高齢者の生活支援について		
状 況 等	<p>住み慣れた地域で在宅生活を継続していくために必要となる、移動販売や宅配事業などの生活支援サービス、地域における通いの場などにつきましては、生活支援コーディネーターを中心に情報を収集し、それぞれの地域の実情に合わせて、支援ニーズとサービスのマッチングが円滑に進むよう、支援体制の充実・強化を図ってまいります。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	健康寿命延伸について		
状 況 等	健康推進課では、健康寿命延伸のため、地区健康教室や元気アップ教室等各種教室の開催、生活習慣病予防のための出前講座、広報紙等による健康づくり情報の発信、ウォーキングマップや健康ダンス「インダ」の普及、がん検診受診率向上のための普及啓発等の事業を行っております。ぜひご活用いただけますと幸いです。		
件 名	産後ケアの充実について		
状 況 等	出産後間もない時期に助産師等専門職からのケアを受けられることは、安心して産後を過ごし育児を開始するためにも必要であるとしております。滝沢市では令和3年11月から訪問型の産後ケア事業を開始しておりますが、今後、サービスを希望される方に十分に対応できるよう体制の充実を図るとともに情報提供について取り組んでまいります。		
件 名	医療体制について		
状 況 等	本市は、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスが良く、住民の方々は滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し、受診できる環境にあります。滝沢市内には2つの病院と16の診療所、19の歯科診療所があり、診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっており、他市町村と比較して恵まれた医療環境にあると認識しております。		
件 名	医療機関について		
状 況 等	滝沢市内には入院施設のある医療機関(2つの病院)があります。住民の方々は滝沢市内を始め、盛岡市内など医療機関から病院を選択し、受診できる環境にあり、他市町村と比較して恵まれた医療環境にあると認識しております。また、日頃から体調の急変時に相談や受診できる「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。		
件 名	(インフルエンザ・おたふくかぜ予防等)子どもの医療費負担について		
状 況 等	インフルエンザ予防接種の助成金については、拡充の検討を行い、今後も市民の皆さんが予防接種を受けやすい体制を整えていきます。おたふくかぜの予防接種については、国において定期予防接種の検討が進められており、国の動向について情報収集を行い、対応を検討していきます。		
件 名	各種検診等について		
状 況 等	滝沢市で実施している特定健康診査をはじめとする各種健(検)診等を受診できる医療機関は、市の広報誌やホームページで掲載しておりますのでご活用ください。また、本市の妊婦さんは大半が盛岡市内の産科で出産しております。県内の他市町村に比べて、産科に限らず、医療機関が身近にありますので、日頃から体調について相談や受診ができる「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
-----	-------	-----	-------

件 名	子ども医療費助成について
状 況 等	<p>子ども医療費助成の制度は、岩手県の子ども医療費助成制度を基本として、県の補助金の支援を受け、また岩手県の基準を超える部分は防衛省の交付金の支援を受けて実施しています。</p> <p>県の制度では、所得制限を設けており、主としてお子さまの生計を維持している監護者の前年中の所得をもとに所得判定を行った上で、受給者が、通院の場合は就学前の児童まで、入院の場合は小学生までとしています。また、受給者負担額の上限が、3歳未満児や住民税の非課税世帯などを除き、通院の場合は1ヶ月1,500円、入院の場合は1ヶ月5,000円となっており、この受給者負担額を超えた分を子ども医療費として給付しているものです。</p> <p>県や防衛省の支援を超える市独自の医療費助成は、そのまま市の財政負担となり、限られた財源の中では大変厳しい状況にあります。市では、3歳未満児にかかる所得制限を撤廃した上で、受給者を通院・入院ともに中学生まで拡大し、3歳以上の未就学児童の受給者負担額の上限を県の半額とするなど独自の見直しを行っています。また、令和5年4月からは受給者を高校生等まで拡大するところです。</p> <p>児童数の増減傾向など、市町村ごとに事情は異なりますが、市でも、皆様からいただいているご意見を参考にしながら、更なる独自助成の充実ができないか検討を継続して行ってまいります。また、国や県に対しての医療費助成制度の拡充の要望活動も継続して行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>

件 名	後期高齢者医療保険について
状 況 等	<p>後期高齢者医療保険につきましては、岩手県後期高齢者医療広域連合で定めた岩手県全体での保険料率で皆様に負担していただいております。被保険者の世帯所得の金額によっては、定められた軽減適用等もさせていただいております。</p> <p>今後も適正な運用を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。</p>

件 名	国民健康保険について
状 況 等	<p>国民健康保険の医療費につきましては、高額療養費制度をご活用いただける場合がございます。</p> <p>この制度は各世帯の所得状況に応じて、1か月間の保険適用の医療費に対して厚生労働省の定める自己負担限度額が適用となり、入院や手術等の高額な医療費の自己負担額が軽減される制度です。</p> <p>制度の詳細は、一度保険年金課にお問い合わせください。</p>

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	観光物産課
------------	-------	------------	-------

件 名	住民が交流を通して楽しめるイベントについて
状 況 等	市観光物産協会と連携しながら、企画、検討してまいります。

件 名	ビッグループの朝市について(出店数の増加等)
状 況 等	頂戴したご意見は、随時運営組織へ情報共有してまいります。

件 名	滝沢市の特産品や新商品について
状 況 等	市観光物産協会等の関係団体と連携しながら、新商品開発に取り組んでまいりたいと考えております。また、特産品開発の補助金内容について引き続き改正しながら、より事業者が特産品の開発をし易い環境づくりに取り組みます。

件 名	地産地消や農業体験施設等による、高齢者の生きがいや活躍について
状 況 等	<p>【観光物産課】 滝沢市シルバー人材センターの周知及び活用支援をおこなってまいります。</p> <p>【農林課】 市の農業振興においても販売所や地産地消農家レストランの充実は必要なものと思っておりますが、現在は「ビッグループ滝沢」が市においてはそれを担う場として捉えております。</p> <p>なお、農作業体験に関しましては、市内の農家の皆さんにご協力いただき、グリーン・ツーリズム推進協議会(農林課が事務局)を結成し、各会員の農家さんの圃場を活用させていただいております。こちらに関しましては常時相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。</p>

件 名	求職支援等の雇用対策について
状 況 等	滝沢市地域職業相談室を運営し、求職に関する相談及び情報提供を行っています。また、市の広報や市役所でも情報提供を行っています。引き続き関係機関と連携して、職業マッチングと求職支援に取り組んでまいります。

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
件 名	商業について		
状 況 等	<p>大規模小売店舗の多くは盛岡市内にあり、商圈距離内にある滝沢市内には、数多くは立地されていない状況です。また、専用スーパー等の食糧品、衣類等の小売店につきましては、商圈人口等の条件により、地域によっては、大規模な民間事業者の進出には至らない状況となっています。高齢化が進み、日用品の買い物の課題も出てきており、今後は自治会、滝沢市商工会、各商工振興会などの関係機関と協議しながら、課題の把握に努め、商業の活性化について対応を検討して参りたいと考えております。</p>		
件 名	雇用の確保について		
状 況 等	<p>雇用の確保につきましては、岩手県立大学前に市が整備した滝沢市IPUイノベーションパークへの企業誘致を進め、新たな雇用の創出に努力する他、集積したICT関連企業や大学等のポテンシャルを活かし、IoT等の活用による既存の市内事業所の生産性向上に向けた支援を図り、持続的な経営を維持することで、安定的な雇用の確保を目指します。また、市民や大学生等に市内事業所を知っていただくための活動にも注力して参ります。</p>		
件 名	企業誘致について		
状 況 等	<p>本市の企業誘致につきましては、土地利用に関する法令による規制から、新たに大規模な工場等を誘致することは難しい状況にあります。しかしながら、近年のICT産業の成長により、広い土地を必要としないIT企業の誘致につきましては、滝沢市IPUイノベーションセンターを中心に、岩手県、岩手県立大学及び滝沢市で連携した誘致活動を進め、取り組みの成果として、令和4年7月にはセンター全室が埋まり、また岩手県立大学前にIT企業の集積を目指し整備された滝沢市IPUイノベーションパークは、現在も新たな立地の動きもあり、今後は産業用地の拡大に向けた検討も進めながら、滝沢市の特色を活かした集積を目指し、企業誘致を進めて参ります。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
件 名	農業を生かした市民交流や他の市町村民との交流を行う意見について		
状 況 等	<p>農業を生かした市民交流や、他の市町村民との交流を行う件につきましては、「地産地消」や「食の安全・安心」、「食育」などを皆様と考える、とても良い機会であると捉えております。</p> <p>農産物を取り扱った販売イベントや、生産者による交流会は現在も開催しておりますが、生産者と購入者に及ぶ市民交流的な機会や、他市町村の方々を巻き込む様な意見交換の会の開催はあまり実施が出来ていない面もありましたので、今後の農業政策を考えていく上での貴重なご意見としたいと思います。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
件 名	市内の公共交通について		
状 況 等	<p>市内の公共交通については、特にも路線バスについては県内で盛岡市に次いで本数が多く、恵まれている状況にありますが、既存の公共交通の利用が難しい高齢者、公共交通不便地域の住民、さらには今後増えてくる免許返納者の移動手段の確保が課題となっております。</p> <p>また、全国的に、人口減少、少子高齢化、マイカー依存の影響に加え新型コロナウイルス感染症により、公共交通の利用者が減少しております。県内の路線バスやタクシーにおいても、利用者の減少による交通事業者の経営悪化や、運転手の高齢化により、路線バスの減便やタクシー台数の減少が続いている状況にあります。</p> <p>このようなことから、今後は効率的かつ持続可能な公共交通ネットワークの構築が必要となっており、市では、平成29年9月に策定した、まちづくりと連携した公共交通の基本的な方針と施策体系を示す「滝沢市地域公共交通網形成計画」に基づき、施策を展開し、地域公共交通の維持・確保に向けた取組を推進するとともに、地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p> <p>また、市では過去に菓子地域の循環バスや、菓子地区から市役所周辺までの民間による路線バスを運行しましたが、利用者が少なく廃止に至った経緯もあり、地域生活の足を守るという観点から、今後とも公共交通の積極的なご利用をお願いいたします。</p>		
件 名	市の都市構想について		
状 況 等	<p>人口減少・高齢化が進む中、特に地方都市では、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、だれもが高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めることが重要となっております。</p> <p>市では都市づくりの目指すべき方向性、整備方針及び地域ごとの特性を生かした将来のあるべき姿を、滝沢市総合計画や国土利用計画滝沢市計画の内容に沿いながら、その指針として「滝沢市都市計画マスタープラン」を平成27年3月に策定し、「人と人が結ばれる集約・連携型都市」を将来目標として各施策を展開しております。</p> <p>現在、市役所周辺を商業、行政、医療、教育等の機能、交通の結節点としての機能を持った、都市の中心を担う「中心拠点」を整備するため、その一角を担う商業地について民間による開発を進めているところであり、立地する商業施設等は、スーパーマーケット、物販店、飲食店、健康増進施設、温浴施設、保育施設、医療施設などを予定しております。</p> <p>また、菓子地区、元村地区、鶴飼地区など、他の人口集中地区については「地域拠点」と位置付けており、それぞれ各地域の特徴を活かしながら、人とのつながりが生まれる「場」の創出と、「場」へのアクセスの形成を意識したまちづくりを展開していくものとしております。</p> <p>さらには雇用や活力を生む盛岡西リサーチパーク、岩手県立大学周辺、東北自動車道インターチェンジ周辺を「産業拠点」として形成するものとしております。</p> <p>市では、将来の人口減少や高齢化社会を見据え、これらの拠点の形成に努め、さらには各拠点間を公共交通で結ぶ集約・連携型の持続可能な都市づくりを目指してまいります。</p>		
件 名	公園の遊具更新、整備について		
状 況 等	<p>現在、市では滝沢総合公園を含めて大小191箇所ある公園の維持・管理を行っております。</p> <p>老朽化などにより修繕・更新が必要な遊具については、自治会の意向を確認しながら更新を進めておりますが、新規の公園については現在のところ整備する予定はありません。</p> <p>今後におきましては、人口減少や高齢化が進む動向を踏まえながら、利用状況やニーズを把握し、既存の公園をより活用していただけるよう、計画的に遊具等の更新を進めてまいります。</p> <p>なお、滝沢総合公園については、皆様に安全にご利用いただくために、現在、各施設において修繕等の工事を行っております。また、公園内のふれあいの森にはアスレチック遊具やウォーキングコースなどを整備中です。</p> <p>今後におきましても、市内公園の適正な利用にご協力をお願いいたします。</p>		
件 名	空き家対策について		
状 況 等	<p>空き家については、市を含めて全国的に年々増加している状況にあり、市では適切に管理されていない空き家の対策や利活用に関する施策を効果的かつ効率的に推進するため、市内空き家実態調査の結果を基に令和4年3月に「滝沢市空家等対策計画」を策定しました。</p> <p>今後におきましては、本計画に基づき、市内で適切に管理されていない空き家の所有者に対する措置や利活用に関する施策を進めてまいります。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	道路の除雪について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)について除雪を行っております。</p> <p>○市の除雪方法 市が行う除雪方法は、除雪機械で道路脇に雪を寄せる方法で、寄せた雪を移動させたり、道路から運び出すなどの排雪作業は実施しておりませんので、家の前に寄せられた雪の片づけは市民の皆様にご協力いただいております。</p> <p>○除雪の適切な実施 市道の除雪は早期完了を目標に行っておりますが、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより完了時間は左右されます。そのため、積雪による交通障害が予想される場合には、職員によるパトロールの実施等による確認、各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど、地域にあった除雪や適切な出動判断、初期除雪の徹底に努めております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度 市内を地区分けし除雪を行っておりますが、地区により降雪状況が異なる場合は 地区毎に出動を指示する場合がありますため除雪回数に差が出る場合があります。作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○除雪業者の状況と対応 除雪業者においては、除雪オペレーターの高齢化や人員(担い手)不足に加え、住宅開発などで除雪対象路線は増加しているため負担は増加しています。このような状況をふまえ、市では市民と業者との相互理解の促進と協働除雪の意識醸成を図ってまいります。</p>

件 名	道路の整備について
状 況 等	<p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を整備しているほか、小学校などの教育施設周辺から交通安全対策として順次整備を進めております。 なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 市総合計画等と整合した箇所や幹線市道について、優先的に進めております。 また、財政等の理由で早期に整備が難しい箇所については部分的な側溝改修や路肩拡幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っていきます。</p> <p>○市以外が管理する道路への整備要望 国・県等が管理する道路について、学校や自治会、住民の方々からいただきました意見につきましては、情報提供を行い、歩道整備や道路拡幅の要望を行っております。</p>

件 名	道路の維持管理について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)の維持管理を行っております。</p> <p>○市道維持管理全般 日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修はその場で行うなど迅速化を図ってまいりました。しかしながら市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間に把握することは難しいため、道路を利用される方々の情報提供をお願いします。</p> <p>○計画的な修繕 舗装の全面補修や側溝設置など費用のかさむ工事については、市の修繕計画の中で危険度や緊急性を検討し順次修繕を進めております。</p>

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	水道総務課
-----	-------	-----	-------

件 名	水道代について
状 況 等	<p>滝沢市の水道料金は県内市町村と比較するとおおよそ平均金額となっております。 お客様からの水道料金は水道事業の運営のための財源となり、老朽化した施設や水道管の耐震化の整備等に使用されています。人口減少社会の到来などにより水道使用量の減少が見込まれておりますが、安定的な水の供給及び更なるお客様サービス向上のため、コスト削減に努めながら、適正な料金算定に理解をいただけるよう今後も取り組んで参ります。</p>

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	水道整備課
-----	-------	-----	-------

件 名	水道水について
状 況 等	<p>滝沢市の上水道は、主に岩手山麓に豊富に存在する良質な地下水・湧水を原水として浄水しております。</p> <p>これらの地下水・湧水は、味や臭気に異常がなく、また大腸菌等の細菌類も検出されず良質であることから、水道法に基づく消毒のための塩素注入量も全国的に見てもかなり低い量で供給しております。</p> <p>ご家庭の水道水の異常は、使用する水の量の変化や、設備による原因の場合もあります。気になる場合は確認に伺いますので上下水道部水道整備課までお問い合わせください。</p>

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
-----	-------	-----	------

件 名	下水道の整備について
状 況 等	<p>滝沢市では、法律で定められている市街化区域における下水道整備は概ね完了し、令和3年度末における公共下水道の水洗化率(公共下水道水洗化人口÷公共下水道共用区域内人口)は97.1%となっております。</p> <p>また、県が公表している「令和3年度末水洗化人口割合〔市町村別〕」では、下水道水洗化人口割合(公共下水道水洗化人口÷行政人口)について、矢巾町78.6%、紫波町59.5%、盛岡市は87.8%であり、滝沢市69.9%となっております。</p> <p>この滝沢市の下水道水洗化人口割合69.9%は市内全域の割合であり、公共下水道水洗化率97.1%は公共下水道が整備されている割合となることから、市の公共下水道供用区域内においては、おおむね整備されているものと捉えております。</p> <p>市の今後の公共下水道整備については、市街化調整区域などのその他区域は、市街化区域の人口密集度と比較し、公共下水道の効率性及び採算性を勘案しながら整備区域を決定してまいります。</p>

件 名	浄化槽について
状 況 等	<p>市が行う浄化槽設置はありませんが、既存住宅に対し個別合併処理浄化槽の設置に係る補助金を交付していますので、市下水道課までご相談ください。</p>

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	教育総務課
件 名	教育費の無償化について		
状 況 等	義務教育では授業料と教科書代は無償としていますが、学校給食費や授業で使用する教材費、修学旅行費等の実費は各家庭での負担となります。本市において経済的に就学が困難と認められるご家庭に対しては、給食費及び修学旅行費は就学援助制度により全額援助しております。また同制度においては学用品費、校外活動費、体育実技用具費等の一部を援助し、各家庭の教育費に係る負担軽減に努めています。		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
件 名	学校のPTAの在り方について		
状 況 等	<p>今年度より各学校に、学校教育振興協議会が設置されました。地域住民、関係団体及び児童生徒の保護者の、学校運営に対する支援及び協力を促進することにより、児童生徒の健全な育成に取り組むものです。その中の1つとしてPTAがあります。PTAの在り方とともに、PTAのどのような活動が児童生徒の成長につながるのかを、協議会の中で検討しながら、進めていくことができるよう、教育委員会として支援していきたいと考えています。</p>		
件 名	いじめについて		
状 況 等	<p>各校では、校長のリーダーシップのもと、学校の教育活動全体を通じ、全ての児童生徒に「いじめは決して許されない」ことを指導しています。教育委員会としても、すべての児童生徒が安心でき、自己有用感や充実感を得られるような人間関係づくりを、学校とともに進めていきます。</p>		
件 名	自己肯定感や有用感を育むことについて		
状 況 等	<p>学校の教育活動全体を通じ、児童生徒が活躍でき、他者の役に立っていると感じ取ることのできる機会を全ての児童生徒に提供できるよう、各学校では、普段の授業から、児童会活動や生徒会活動、学校行事等で取り組んでいます。今後とも、児童生徒が活躍できる機会を設けながら、自己肯定感や有用感につなげていきたいと考えます。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校給食センター
-----	-------	-----	----------

件 名	学校給食について
状 況 等	滝沢市学校給食センターでは、1日に約5,200人分の給食を提供しています。限られた時間の中で調理を行うため、ある程度の加工食品を使用しており、食品衛生法で成分規格・使用基準が定められた安全な食品を使用しています。給食の米は100%滝沢産を使用し、野菜については、可能な限り地場農産物の使用に努めております。滝沢市内の農家から直接納入される新鮮な農産物を給食に使うことで、児童生徒の食や郷土に対する興味・関心を持つきっかけになるものと考えます。今後とも、給食を通して児童生徒に食の大切さを伝えていきたいと考えております。

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	生涯学習スポーツ課
-----	----------	-----	-----------

件 名	屋内プールの整備について
状 況 等	屋内プールでの運動については健康増進やスポーツ振興の観点から有効なものと考えますが、建設費及び維持管理費用が高額であることから設置の計画はありません。

件 名	スポーツ、サークル、ボランティア活動などについて
状 況 等	スポーツや文化芸術、講座、セミナー、ボランティアなどに関する情報を掲載した「生きがいとやりがいの学びガイド」を令和2年6月1日に発行し市内全世帯に配布しており市ホームページでも内容を閲覧できますのでご活用ください。

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	文化振興課
-----	----------	-----	-------

件 名	伝統文化の伝承について
状 況 等	芸術文化へのご意見をいただきありがとうございます。伝統文化支援として、市郷土芸能まつりの開催やイベントの出演調整等、文化財の保護および後継者育成の支援を引き続き進めてまいります。毎年、市芸術祭や市郷土芸能まつり等でビッグループを活用しておりますので、市HPや広報にて定期的に情報発信をして、市民の皆様に芸術文化に触れる機会を提供できるよう努めてまいります。

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の態度について
状 況 等	市民からの苦情やご意見を真摯に受け止め、接遇研修などを充実させ、お客様の立場になったより良い対応ができるよう、今後も職員に指導を行ってまいります。

件 名	窓口での対応について
状 況 等	市民からの苦情やご意見を真摯に受け止め、接遇研修などを充実させ、お客様の立場になったより良い対応ができるよう、今後も職員に指導を行ってまいります。

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	総合計画(市民の幸せ、幸福実感、暮らしやすさ)について		
状況等	<p>当市では、「幸せを実感できる滝沢市」の実現を目指し、「幸福感」をキーワードに市民の皆様と策定した「第1次滝沢市総合計画」を、平成27年度から進めています。</p> <p>この計画の中では、「幸福実感一覧表」と「暮らしやすさ一覧表」を設け、「幸福実感一覧表」では、市民を7つの世代と5つの生活の場面ごと、掛け合わせて35の区分ごとに、「幸福感を育むための一人一人の行動」「象徴指標」「指標の基準値及び目標値」「行動例示」を示しています。また、「暮らしやすさ一覧表」では、「めざす地域の姿」実現に向けた「8つの視点」と「視点が描く『めざすまちの姿』」に基づく、「市民の日常生活に必要な利便性の確保」と「危機管理上必要な機能」を表した45項目の最適化条件を定め、74の代表指標と、4年後、8年後の「めざす値(目標値)」を定めています。</p> <p>第1次滝沢市総合計画の策定から現在まで、人々の考え方や生き方は多様化が進み、健康寿命や働き方の見直しなどをはじめ、「充実した人生」というものが重視されてきています。このような潮流は「幸せ」のとらえ方にも大きく影響しており、頂いたご意見に「幸せは個人が感じるもの」、「幸せの実感は一それぞれ」とあったように、「幸せ」はひとりひとりの多様な形があるものとして捉えています。令和5年度から始まる第2次滝沢市総合計画においては、この点も考慮しながら、ひとりひとりの多様で持続的な幸福を実現できるよう、環境づくりを進めます。</p>		
件 名	アンケート(設問が多い、内容が難しい、統計的に分析するべき)について		
状況等	<p>たきざわ幸福実感アンケートは、市民の皆様が普段の生活でどのようなことを感じ、考えているかを測るため、平成15年度から毎年度実施しています。第1次滝沢市総合計画で示している「幸福実感一覧表」、「暮らしやすさ一覧表」に掲げた指標の進捗を把握し、地域づくりや行政経営に活かしていくことが目的です。</p> <p>アンケートの分析にあたっては、性別や世代といった区分における母集団や標本数、標本誤差等も明らかにしています(たきざわ幸福実感アンケート報告書参照:市HP掲載)。また、平成15年度から継続して実施しているものであり、市民の皆様のご協力により集められているこのデータは、皆様の暮らしや考え方の推移を捉えられる貴重なものです。これら膨大なデータをより効果的な政策展開につなげられるよう、市ではAIを用いたシミュレーション分析も行っています。回答が多いほど、データの価値も高まり、暮らしの実態に沿った分析が可能です。アンケートの設問数や内容により、ご回答を頂く皆様へは大変お手数をおかけしますが、趣旨目的をご理解いただき今後もご協力いただけますと幸いです。よろしくお願ひします。</p>		
件 名	その他のご意見等について		
状況等	<p>市政や暮らしに関して多様なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、たきざわ幸福実感アンケートの回答においても、地域行事への参加や趣味・特技を披露する場、地域の役に立つ機会といった項目が継続して減少しています。</p> <p>このことから、新型コロナウイルス感染症の影響による地域行事の自粛によって、地域活動をベースとした人とのつながりの希薄化が懸念されます。長期にわたったつながりの希薄化は、学生や高齢者を始め、多くの世代にとって、その持続的幸福感が阻害される可能性のあるものです。</p> <p>一方で、「あなたは、いざという時に、頼れる相手がいますか」、「あなたは、子どもが悩みを相談できる相手がいると感じていますか」という設問に対し、「はい」と答えた人の割合は大きく上昇しており、子どもとの会話の時間も伸びているなど、子育て世代に関する項目は、軒並み大きく上昇していました。</p> <p>これらは、新型コロナウイルス感染症がポジティブに影響した例と捉えることもでき、前例のない非常事態の渦中において、改めて頼れる存在の大切さを認識したり、その存在を再発見したりすることにつながったものと考えられます。加えて、地域活動等による対外的な交流機会が減少する中で、お家時間の増加により、家庭などの対内的な交流機会が増加したことが示されています。</p> <p>めまぐるしく移り変わる時勢ではありますが、頂いたご意見等をもとに、ポストコロナ・ウィズコロナを見据えながら、滝沢市がより住みよいところとなるよう、引き続き市政の展開に取り組んでまいります。</p>		
件 名	高齢者の情報取得手段へのフォローアップについて		
状況等	<p>高度に情報社会が進展していく中で、高齢者の方における情報格差を懸念する声も上がっています。市では、これまでのHPや広報紙などによる情報発信に加え、近年は各種SNSを用いた拡張的な情報発信も展開しており、より多くの皆さんに滝沢を知っていただけるよう、新しい企画を展開しています。そうした時代に応じた情報発信を実践する傍らでは、高齢者の方などを対象としたスマートフォン講座の実施も予定しており、情報格差を防ぎ、多くの人が主体的に情報を取得し広めることができるよう、フォローアップの取組も展開していきます。スマートフォン講座実施の際は、ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。</p>		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	情報システム課
件 名	IT技術を取り入れた住民サービスの向上について		
状 況 等	デジタル社会の実現に向けた対応として、住民票や税などの自治体情報システムの標準化・共通化、マイナンバーカードの普及促進、行政手続きのオンライン化を進めております。今後も、市役所内部の書類のペーパーレス化、電子決裁、AIの活用等を実施して自治体DXを推進することにより、経営資源の最適化を行い、住民サービスの向上を目指してまいります。		

令和4年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	税務課
-----	-------	-----	-----

件 名	税金について
状 況 等	<p>個人住民税や固定資産税、軽自動車税などの市税につきましては、地方税法で定められた標準的な税率で皆様に負担していただいております。標準税率を下回る税率での課税は様々な制限がかかる場合があるため、現行制度においては難しい状況となっております。</p> <p>今後も適正な課税を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p>